

※短歌は22作品を掲載します

初春や細川和紙の楮かきし
 (評) 小川町と東秩父村の「日本の手漉き和紙の技術」が昨年十一月に、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。お祝いムードに湧いたのは記憶に新しいところです。作者は小川町での楮かき(楮むし)を見学されて詠まれた秀句です。「折れ竹」の句、雪折れの竹がかぶさって身をかわしている梅の木にびっしり蕾がついているのです。その生命力の強さに感動しつつ春の開花を待つ作者の思いの詰まった秀句です。
 折れ竹を躰せる梅に蕾かな
 三沢 眞下 杏子
 空に向け彩おのおのに冬木の芽
 三沢 新井 民子
 牧場の冬の緑に日は高し
 三沢 長谷河ソノ
 待ちわびし風音聞けり春隣
 皆野 根岸 詩子
 結願寺祈る声消す虎落笛
 皆野 原 和幸
 御仏の慈顔優しや春の風
 上日野沢 四方田利男
 大声でまつくらやみにおには外
 皆野小二年 たばたるみか

酷寒の庭に水仙芽吹き初め春の兆しに心ときめく
 老いし身をいたわる絆親しみて息子も嫁も我が宝なり
 冷へ厳し病後の夫に氣遣ひつ堪へ明るき春待ち遠し
 病室の窓より見える宝登山にロー梅咲いたとラジオ言う
 亡き母の遺品の中のエプロンを母の歳越え今着けてみる
 木々の葉も川面も光り輝きて微かに近む春の足音
 アイアム健二と願ひむなし後藤さんあなたとふれた子等思いつなく
 春暖の博物館の裏庭で雉子の大声児童腰引く
 残雪の秩父札所に初観音参る人らの読経は響く
 若き頃友等と踊りし秩父音頭老いて今住む町となりけり
 雪の降る道辺に香る蠟梅の花も凍えて泣いて居るらし
 親切を受けた思いで懐かしく其の人一日我は一生に
 早や十日旅の終る日ラウンジで田園を聞く金華山沖
 綺麗だと言ったあなたは過去の人口先だけで心こもらず
 靴下に開く穴いつも親指の爪のいたざら継ぎ宛てである
 一人居の差し来る日差し背にうけて癒せし一時を本を捲りぬ
 臘梅が悴の家の庭に咲き目白一羽が高音張りおり
 梅一輪初音の便り日本列島まだ雪深き北国想う
 緊迫の人質報道続きしが祈り虚しく一月は往ぬ
 流れ行く月日の早さ走馬灯健康願う後期高齢
 初春や良き友去りて力落ち消えては浮ぶ友の顔なり
 氷点下残雪寒し朝餉時残念無念後藤氏ニユース

下日野沢 豊子
 皆野 愛子
 新井 葉子
 新井 進
 新井 節子
 新井 民子
 新井 弘延
 新井 岳樹
 市川 昭広
 打木 昭広
 加藤マリ子
 鈴木 貞恵
 関根 助市
 戸塚喜久雄
 原 和幸
 引間 万亀
 藤原マキ子
 長谷河光久
 保科 從道
 眞下 杏子
 村田ハツ代
 横田 龍雲
 四方田利男

中村琴江選 投稿数22句

初春や細川和紙の楮かきし
 皆野 保科 從道
 春立つや竹馬の友の訃報受く
 三沢 澤野 恒平
 元朝や焼香たえぬ三夜寺
 三沢 横田 龍雲
 梅蕾む虚の命の強さかな
 皆野 関根 助市
 鯉の尾がかすかに動く結氷池
 皆野 戸塚喜久雄
 病室のとんびの見ゆる春の空
 下日野沢 新井 進
 下日野沢 新井 進

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 総務課へお寄せください。
 1人1句、1首に限ります。
 8日必着



憲司郎くん
 下大浜区
 竹内 紀昌さん
 綾子さん

好奇心旺盛なけんちゃん。
 これからも元気いっぱい
 過ごしてね。



奏太くん
 上原区
 吉田 和紀さん
 広美さん

いたずら大好き甘えん坊奏ちゃん。
 いつもいっぱい笑顔ありがとう。



獅琉くん
 上原区
 新井幾世和さん
 希さん

しーくん1歳おめでとう♪
 元気いっぱい、
 優しい子に育ってね★



直樹くん
 下田野区
 守屋 雅士さん
 望さん

1歳おめでとう!!
 素直で優しい男の子になってね☆



心響くん
 下田野区
 大山 隼人さん
 歩さん

お誕生日おめでとう☆
 お兄ちゃんと仲良く
 元気に育ってね♡



1歳のお誕生日おめでとう

※満1歳の赤ちゃんを募集します。4月号の締め切りは、3月10日(火)まで。ホームページからも応募できます。